

Please put translation after English sentence, otherwise I won't know what Japanese goes with what English.

Names:

Vish Veerajappa

Head of Sustainability Champions Network

Bill Wilson

Chief Sustainability Officer

George Halios

Lead AI Developer

Matt Kearney

Sustainability Lead, Insurance

タイトル: 持続可能なバリューチェーン生成 AI ツールキット

ほとんどの企業は、気候変動の影響は主にサプライチェーンによって左右されることを認識しています。

しかし、半数以上がこのカテゴリーのスコープ 3 排出量の測定を開始していない。その結果、彼らは顧客に正確な炭素測定値を提供することができません。

この悪循環を断ち切る必要があり、NTT はこの世界的な問題を解決するのに適しています。

現在、サプライチェーン排出量の計算には 3 つの方法があり、成熟した組織はこれらを組み合わせて使用しています。

- ・ 最も良いケースは、サプライヤーから直接データが提供される場合ですが、多くの場合、それは利用できません。
- ・ サプライヤーレベルの要因で代替することができます。たとえば、当社の C-Turtle プラットフォームを使用すると、NTT は CDP によって宣言された企業排出データを自動的に収集できます。
- ・ あるいは、購入した商品やサービスのカテゴリーごとに支出ベースのアプローチに頼ることもできます。

ファジー・マッチング・テクノロジーは、このプロセスで発生する可能性のある単純なルックアップ問題

(一貫性のない記録されたサプライヤー名の修正など) に対処できます。

しかし、支出に基づく排出量の計算には、より大きな課題がある：つまり、商品を支出カテゴリーに割り当てることです。そして、これには新しいアプローチが必要になります。

人に請求書を 1 行ずつ分析するように依頼しても、各請求書明細の情報の質が低下する可能性があるため、困難な場合があります。

しかし、NTT DATA UK では、OpenAI on Azure を使ってこの課題に取り組んでいます。

生成 AI はデータの分類には完璧ではないが、一般的な知識が組み込まれているため、人間よりも優れたパフォーマンスを発揮できることがわかりました。

どのように機能するのか？まず、クライアントに関連する購入商品やサービスのカテゴリーを細分化します。

例えば、NTT データ UK では、自社のサプライチェーンに 108 のカテゴリーが必要になります。

次に、大規模な言語モデルに分類を実行させる前に、データを前処理します。

次のステップは、ホットスポット分析でクライアントと協力することです。サプライチェーンで最大のカーボンフットプリントを示すサプライヤーからの製品データを求めます。

しかし、私たちは顧客の測定を支援するだけでなく、そのデータを、実際に変化を促すために使用しなければならないので、さらに進めたいと考えています。

ここでも、私たちの生成 AI の専門知識が役立ちます。

ホットスポットの分析が終わったので、排出削減を促進するためにサプライヤーをどのように管理するかを考えてみましょう。

これは、私を含む多くのチーフ・サステナビリティ・オフィサーにとっての課題です。私たちは、定量的情報と定性的情報の混合を求めています。

サプライヤーはこれをさまざまな形式で提供します。

私の見解では、各組織の質問の仕方は微妙に異なっています。

それは、私が新しい仕事の入札の際に顧客と一緒に時間を過ごすことがあるからです。

もっといい方法があります。

サプライヤーが公開している情報だけで判断したらどうなるでしょうか？

結局のところ、透明性は世界中の管轄区域における気候変動規制の重要な原則です。

しかし、非財務開示報告書と呼ばれるものから必要な情報を見つけるには、時間がかかることがあります。

その一例として、NTT データ EMEAL のサステナビリティ・レポートを見てみましょう。

ホメロスの『オデュッセイア』と同じくらいの長さだが、こちらの方がトロイ戦争に関する情報が多い。

それは私のせいでもあります。なぜなら私がコンテンツの一部を提供したからです。

しかし、大規模言語モデルは、必要な情報を抽出することに、非常に成功していることが証明されています。

これは、サプライヤー契約プログラマーが迅速な結果を、提供することを意味します。

ここでは、必要なデータを検索するアプリケーションの動作を確認できます。

金融サービス会社との仕事をするようになり、サプライヤーとの関わりはこのテクノロジーの使用例の 1 つに過ぎないことに気づきました。

リスク管理や投資ポートフォリオ分析などのシナリオにも必要です。

そのため、サプライヤーの測定とエンゲージメントのために、強力な生成 AI テクノロジーを導入する準備ができています。

そして、サプライチェーンは世界の排出量の約 60% を占めているので、NTT が関与できるイニシアティブの中で、気候変動にこれほど強力な影響を与えるものはありません。

もちろん、大きな言語モデルの環境への影響は、従来のデジタルソリューションよりも大きくなります。

しかし、NTT のこの分野の専門知識があれば、例えば、モデルの使用回数を最適化することができます。

さらに 3 月には、NTT が計算能力を大幅に削減する大規模言語モデルである「tsuzumi」をリリースします。

私がサプライチェーン排出の仕事始めて以来、私たちは多くの歓迎すべき発展を見てきました。

ここで説明した技術は、いつの日か一般的になるでしょう。

しかし、私たちが開発したツールキットは、地球上のすべての大企業が今必要としている技術です。

ご視聴ありがとうございました。